

2022年10月28日

一般社団法人 放送人の会からのお知らせ

## 『放送人の証言』

### アーカイブプロジェクトがスタートしました。

一般社団法人 放送人の会(東京都千代田区、会長 今野 勉、<http://www.hosojin.jp>)と iU(情報経営イノベーション専門職大学)(東京都葛飾区、学長 中村伊知哉、<http://www.i-u.ac.jp>)とは、日本の放送メディア・文化に携わり、日本の放送・映像文化の確立に多大なる功績を残してきた人達の生の声を後世に残し、これからのメディア文化の礎とすべく、アーカイブ化事業を立ち上げ、公開手法・検証等の共同研究を行います。

#### <本プロジェクトについて>

- ・大山勝美氏、澤田隆治氏をはじめとする総勢200名を超える放送・映像界に多大な功績を残した方々のインタビュー映像をデジタルで編集・蓄積する。
- ・第一弾として大山勝美氏、澤田隆治氏を含む約30名のインタビュー映像を編集し、YouTubeで公開する。
- ・併せて書き起こした文字ファイルをKindleで公開する。
- ・編集及び公開工程を通じ、その後の公開・利用法を含め、メディア文化に資するための課題を検証・研究する。

放送人の証言 主な証言者 (アイウエオ順)

相田 洋	ドキュメンタリー制作者	石井ふく子	ドラマプロデューサー
磯村 尚徳	ジャーナリスト/キャスター	大山 勝美	ドラマプロデューサー/演出家
岡田 太郎	ドラマ演出家	岡本 愛彦	ドラマプロデューサー/演出家
田 英夫	ジャーナリスト/キャスター	露木 茂	アナウンサー
加賀美幸子	アナウンサー	兼高かおる	旅行作家
亀淵 昭信	ラジオキャスター	鴨下 信一	ドラマ演出家
川口 幹夫	NHK会長	熊沢 敦	ラジオプロデューサー/ディレクター
今野 勉	テレビディレクター	澤田 隆治	お笑い番組プロデューサー
重延 浩	プロデューサー/制作会社経営者	鈴木 健二	アナウンサー/司会者
田原総一郎	ジャーナリスト/司会者	橋本 佳子	ドキュメンタリー制作者
秦 豊	ジャーナリスト	日枝 久	放送局経営者

藤倉 修一 アナウンサー/司会者 堀川とんこう ドラマ演出家  
村野 賢哉 科学番組解説者 山川 静夫 アナウンサー  
山田 良明 ドラマ演出家 横澤 彪 バラエティプロデューサー  
吉田 直哉 ドキュメンタリー/ドラマプロデューサー 和田 勉 ドラマ演出家

ほか 全210名(2022年10月現在)

## <一般社団法人 放送人の会とは?>

「放送人の会」は、NHK、民間放送、プロダクションなどの番組制作に携わっている人・携わっていた人、放送メディアおよび放送文化に強い関心を持つ人々が、個人として参加している団体です。

放送について考え、放送や放送関連分野に関するさまざまな問題について、情報を交換し、発信しています。

- 設立年月:1997年12月(2013年4月 一般社団法人化)
- 会長:今野 勉 会員数:221人(2022.10.1 現在)
- ホームページ:<http://www.hosojin.jp>

## <「放送人の会」より、メッセージ>

### 「放送人の証言」デジタルバージョンの作成にあたって

「放送は一つの全体である」

放送は、特別なジャンルに特化しない。様々な分野が渾然として入り交じり、制作、報道、技術、営業などなど、多様な職種が複雑に入り組み、相互に刺激し合って成立している。

そこに流れる情報はストックもあればフローもある。思わぬ相乗効果もあれば、知らぬ間に消えていく様式、方法、人々がいる。

こうした渾然とした全体は、倫理的あるいは統計的記憶では、その全貌を捉えることは出来ない。

「放送は時代と同時進行する」

放送という分野は、歴史的な事象を後から体系的に記録するように、編年体の歴史を編み上げることは出来ない。

同時進行する時代、状況の中で、無意識的な体験と意識的挑戦が、雑然と記憶される。その記憶を対象化し、歴史として語ることが、放送を「歴史」にする。

この「放送」という複雑にして且つ有機的に入り組んだ存在を、時間の流れの中から取り出すことにより、「放送」という他の文化領域とは明らかに異なる「何か」が見えてくる。

いま、私たちは「放送人の証言」を編集しつつ、「放送とは何であったか、そして何であろうと

するのか」という問いに向き合っている。

「放送人の証言」は、放送の創世記からデジタル・インターネットの時代に至る現在まで、放送の魅力に魅せられた、あるいは悪戦苦闘した人たちのオーラルヒストリーである。知られざる珍談奇談も、そこにはある。

「200人を超える証言映像が私たちの手元にある。」  
記録として貴重であり、聞いて読んで面白い。歴史を形成する「証言」の編纂に携わることは「放送人」である私たちの誇りである。

今回 iU という良きパートナーを得て、「放送人の証言」を広く世に問うことが出来るのは、凄く嬉しい。ワクワクする。

デジタルによる記録保存とその利活用により、文化としての「放送」の可能性を改めて世に問うことが可能になる。

2025年は放送100年にあたる。先人の苦闘を思い返しつつ、今私たちに出来ることは何かを考えたい。

一般社団法人 放送人の会  
会長 今野 勉

### <iU学長のメッセージ>

世界的にも特殊なほど発達した日本の放送文化。  
それを築いた黎明期からの証言は、国民の文化資産であり産業資産でもある。  
「放送人」という誇りあるコミュニティーの価値を後世に残し、共有し、さまざまな利活用に供する。教育研究機関として、この公益に貢献できるのは光栄である。

放送の価値を再発見し、新たなメディアの価値を生み出す。  
先人の挑戦を学び、新たな文化・産業の創成を促す。  
本プロジェクトが、次世代への礎となることを期待する。

iU 学長 中村伊知哉

**将来的には、iU の「B Lab」への展開も模索したい。**

iUの「B Lab」とは、「Beyond, Borderless, Breakthrough」の頭文字をとったもので、研究所と銘打ちながら、世界中の大学・研究所、地域、人材をつなぎ、多くの人の得意技や知見を融合させ、新しい技術、サービス、コンテンツ、ビジネス、社会を生み出す参加型プラットフォームです。

テクノロジー開発、社会課題解決、新サービス創出などスコープは広いですが、共通項は

社会実装で、みんなで作るということ。

お父さんもお母さんもおばあちゃんも子どもも、みんな研究員。Lifelong Seeker になり、第2の研究員名刺を持ちます。ソーシャルで、オープンで、参加型で、ユーザーをふくめ全ての人がつながり新しい社会を構築し、課題、アイデア、技術、スキル、人をマッチさせ、小さな創造から大きな創造まで、おもしろい未来をみんなで作ることを目指します。

<https://www.blaboratory.org/>

## <大学概要>

### ■ 大学・学部学科名

- ・大学名:「情報経営イノベーション専門職大学」※ 愛称「IU (あいゆー)」
- ・学部名:情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

### ■ 学長

中村 伊知哉(なかむら いちや)

#### <略歴>

- 1984年 ロックバンド少年ナイフのディレクターを経て旧郵政省入省
- 1998年 MIT メディアラボ客員教授
- 2002年 スタンフォード日本センター研究所長
- 2006年 慶應義塾大学大学院教授
- 2020年4月より、IU学長に就任

### ■ 施設概要

- ・本校舎:東京都墨田区文花 1-18-13
- ・サテライトオフィス:東京都港区海岸 1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階
- ・学生数:639名 専任教員数:28名

### ■ 教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

——以上

一般社団法人 放送人の会

広報担当:菅野高至(090-2320-6749)

事務局長:深尾隆一(プロジェクト担当も)(090-5336-2013)

TEL/FAX 03-3221-0019

郵便番号 102-0094 東京都千代田区紀尾井町1番1号 千代田放送会館3階

e-mail [info@hosojin.jp](mailto:info@hosojin.jp) URL <http://www.hosojin.jp>